

2025年 7月 14日

報道関係者 各位

株式会社舞台ファーム

**日本最大級の農業法人 株式会社舞台ファーム****全国展開ならびにオープンプラットフォーム構想を発表**

**農業の収益構造を変える「グリーンエナジー事業」  
コメ増産に貢献する多収穫品種「にじのきらめき」種粳提供  
2025年度より開始**

掲題に関し、農業法人株式会社舞台ファーム（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：針生信夫）は、食料供給企業として「持続的な食と農のサプライチェーン」を構築すべく、2025年度より全国展開を加速させ、並びに「オープンプラットフォーム構想」として、自治体や他業種企業、大学などの学術組織との連携を積極的に実施し、食料の安定供給のために様々な事業を鋭意実施していきます。

気候変動による野菜の生育不良や米価の異常高騰など、日本の農業は今、大きな転換期を迎えています。基幹的農業従事者の平均年齢はすでに68歳を超えており、農業労働力の高齢化、担い手不足が深刻さを増しています。加えて、耕地面積も年々減少の一途をたどっており、日本農業の「持続可能性」が強く問われる状況となっています。

舞台ファームは、「農業会社」から「食料供給企業」への進化を加速させながら、独自のアグリ・ソリューション「三本の矢戦略」を全国で展開していきます。日本農業の課題解決のため、さらに、食と農の持続性システムの構築のため、果敢に挑戦していきます。

**■全国展開とオープンプラットフォーム構想について**

舞台ファームは、宮城県仙台市に本拠地を構え、これまで東日本を中心に事業を展開してきました。米や野菜の生産のほか、本社工場では大手コンビニエンスストアやスーパーなどのカット野菜を生産し、日本最大級の植物工場である「美里グリーンベース」（宮城県美里町）では、生産作業の約80%の自動化を進め、1日約4～5万株のレタスを生産しています。



＜舞台ファーム製造のカット野菜＞



＜美里グリーンベース産レタス（都内スーパー）＞

また、福島県沿岸部においては、福島舞台ファーム株式会社（福島県浪江町、2019年11月設立）を立ち上げ、自ら営農を進めるほか、コメ生産の要となるカンントリーエレベーター「浪江町棚塩ラック式カンントリーエレベーター」（福島県浪江町、2021年10月竣工）の管理運営を受託し、東日本大震災にて甚大な被害を受けた地域の営農再開を牽引してきました。

茨城県においても、境町の地域農業者支援（営農指導、経営指導等）を発展させ、米や野菜の集荷センターとなる「グリーンステーション境」（茨城県境町、2024年5月竣工）の管理運営を受託、同時に地域農作物の販社として「境町グリーンカラー組合」を境町の農業者と共に立ち上げ、地域農業の振興に取り組んでいます。



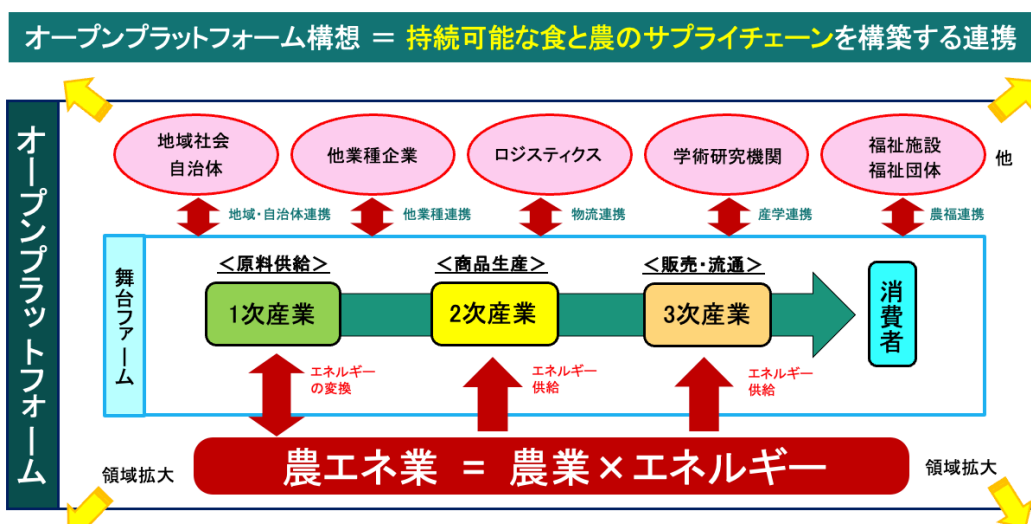
＜浪江町棚塩ラック式カンントリーエレベーター＞



＜グリーンステーション境＞

これらの取り組みのように、舞台ファームと地域農業者ならびに地方自治体との連携を基盤とし、地方農業の課題解決のため一丸となって取り組んできました。このプラットフォームをベースとして全国に展開し、同時に、農業に関心を持ち自社の知見やノウハウを活用させたい他業種企業や農業に深い知識や技術を持つ大学などの学術研究機関ほか、さまざまなステークホルダーとも連携を進めていくことで、このプラットフォームがさらに前向きに拡大していくものと考えています（＝オープンプラットフォーム構想）。

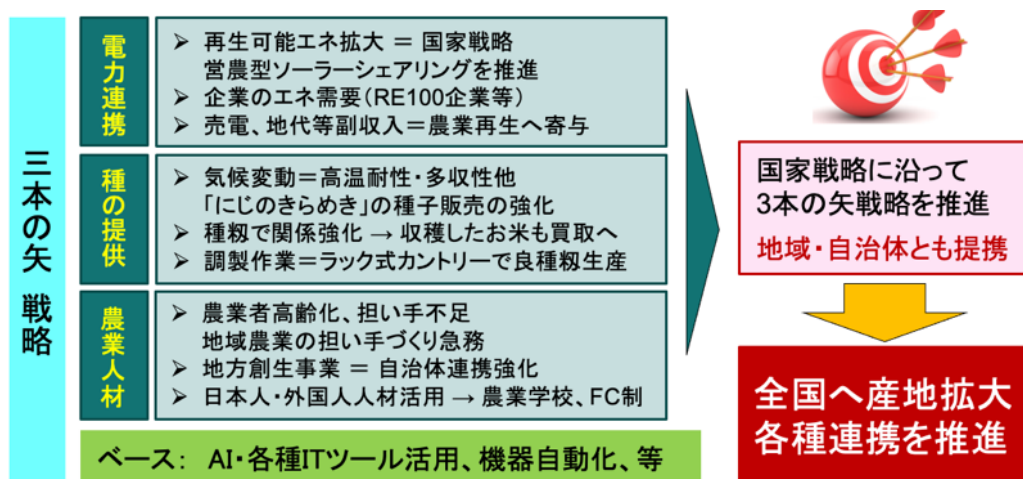
舞台ファームは、持続可能な食と農のサプライチェーンを構築するため、また農業のイノベーションを加速させていくため、このオープンプラットフォーム構想を推進していきます。



<「オープンプラットフォーム構想」概念図>

## ■アグリ・ソリューション「三本の矢戦略」

舞台ファームでは、全国展開やオープンプラットフォーム構想を加速させていくため、独自のアグリ・ソリューション（＝農業の課題解決）をまとめ、「三本の矢戦略」を展開していきます。



<アグリ・ソリューション「三本の矢戦略」概念図>

### ① 電力連携：グリーンエネルギー事業の加速

農業において太陽は「無くてはならないもの」であり、太陽光のエネルギーを利用してこそ、米や野菜などの農作物の生産が可能となります。農業は古来よりエネルギーの転換する営みであったと言えるでしょう。現代では、機械化、自動化などの技術革新が進むことで、生産性の向上を目指す「スマート農業」が加速しています。スマート農業の実現にはさまざまな機械や設備が必要であり、それに伴って「電力」の需要も一層高まっています。

舞台ファームでは、営農型ソーラーシェアリングを核に、農業とエネルギーを掛け合わせた「農エネ業」を提唱し、営農型ソーラーシェアリングを軸とした「グリーンエネルギー事業」の推進に取り組んでまいります。「農地」は、人の食料を生産する重要な位置付けであると同時に、ロボット・機械の食

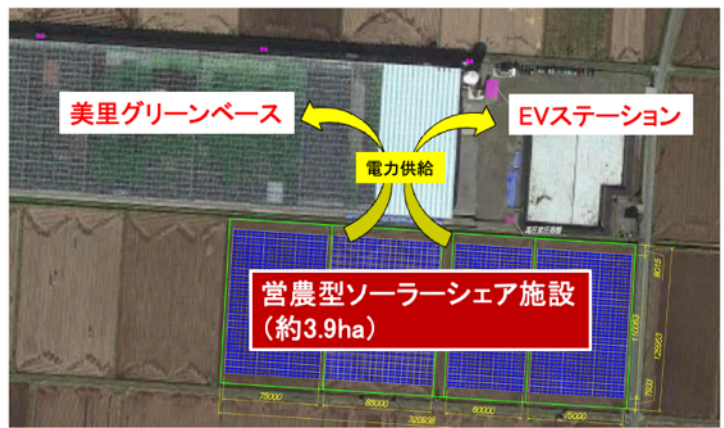
料である「電気エネルギー」も供給するものへとカタチを変えていきます。

具体的には、今後「美里グリーンベース」の南側水田（約 3.9ha）に、日本最大級の営農型ソーラーシェアリング施設の設置を進めていきます（2026 年 3 月通電開始予定）。同施設を活用することで、美里グリーンベースで使用している電力の約 78%を太陽光発電で賄うことが可能となります。また同時に、EV ステーションを設置して周辺農家への電力供給・スマート農業推進を実施するほか、地震などの災害時には地域の方々へも電力を供給します。

舞台ファームは「グリーンエネルギー事業」を全国で展開していくことで、農業の自然エネルギーへの転換、エネルギーコスト削減と同時に、農業の生産性向上の取り組みを加速させていきます。



<営農型ソーラーシェアリング 事例>



<美里における営農型ソーラーシェアリング設置図>

## ② 高温障害に強い多収穫品種「にじのきらめき」の種籾を生産・販売

温暖化によるコメの収量不足に端を発した米価の異常高騰などが話題となっていますが、舞台ファームでは、高温に強く、台風などでも倒れにくいなど耐倒伏性に優れ、多収穫品種である「にじのきらめき」（農研機構開発）の種籾を生産し、2026 年 1 月より全国へ販売を進めていきます。



<にじのきらめき詳細（写真・データは農研機構ホームページより抜粋）>

コメ農家は、「にじのきらめき」を栽培することで、高温下においても一定の品質・生産量が期待されるほか、生産されたお米に関しては舞台ファームで玄米の買取りも実施しており、安定した販路が確保できるメリットがあります。

### ③ 農業人材の開発

舞台ファームは、2015 年 4 月より次世代の農業の経営者人材像「グリーンカラー人材」を提唱し、宮城県美里町、福島県南相馬市・浪江町・双葉町、茨城県境町・つくばみらい市、石川県七尾市など、地方自治体と連携して営農支援や営農指導、農業経営支援など「農業人材育成」に取り組んできた実績があります。

日本においても農業に関心を持ち意欲を示す若者は、決して少なくなくありません。さらに、外国人材においても、世界的人口増を背景に農業ビジネスへの期待感が高まっていると感じます。今後、舞台ファームでは、農業学校の運営やフランチャイズ制度を活用した農業のオーナーシップ制度など、打ち出していきたいと考えています。

### ■持続可能な“食と農”を目指して ～サステナビリティ・トランスフォーメーション (SX)～

先述の通り、舞台ファームでは、持続可能な“食と農”の確立を目指し、これまでもサステナビリティ・トランスフォーメーション (SX) を目指し、革新的な取り組みを進めてきました。

今後、オープンプラットフォーム構想のもと、農業の課題解決に直結するアグリ・ソリューション三本の矢戦略を進めていきます。気象変動や農業の労働力不足など、食と農を取り巻く構造的課題が深刻化する中、多様なステークホルダーと共に叡智を結集し、日本農業の課題解決と持続可能なサプライチェーン構築に向けて、さらなる持続可能な革新的創造 (SX) を創出したいと考えています。



＜サステナビリティ・トランスフォーメーション 概念図＞

### ■新ブランド「いきてるレタス」展開開始

美里グリーンベースで生産される根っこ付きレタス『いきてるレタス』は、鮮度保持期間が飛躍的に延びる次世代野菜です。AI 環境制御や LED 照明、ロボット栽培など、最先端技術を導入し、安定した高品質野菜を供給。2026 年からは営農型ソーラーによる自然エネルギーを活用して栽培します。全国の量販店向けに、今秋からリニューアル販売を開始します。



## ■代表メッセージ

社名の「舞台」は、英語に言い換えれば「プラットフォーム」であり、舞台ファームは、「オープンプラットフォーム構想」を経営の中核に据え、農業を持続可能な成長産業へと変革させたいと考えております。三本の矢戦略を軸として多様な連携を推進し、革新的な取り組みを全国で加速させることで、日本の食料安定供給に全力を尽くしてまいります。

## 【株式会社舞台ファーム 概要】

- 所在地： 宮城県仙台市若林区日辺字田中 1 1 番地
- 設立： 平成 1 5 年 7 月
- 資本金： 5,000 万円
- 代表者： 代表取締役社長 針生 信夫
- 従業員数： 1 5 4 名（グループ合計 2 3 1 名）
- 売上高： 4 6.0 億円（グループ全体 6 1.0 億円）
- 業務内容： 野菜・米の生産・販売  
生食用カット野菜などの加工・販売  
実践型農業コンサルティング、電力関連事業 など



<株式会社舞台ファーム 本社・工場>

## 【日本最大級のレタスの植物工場 美里グリーンベース 概要】

- 施設名： 舞台ファーム「美里グリーンベース」
- 建設地： 宮城県遠田郡美里町中埜字新上戸東 3 6 番地
- 面積： 敷地 7 5, 5 5 0 m<sup>2</sup>、建屋 5 1, 3 6 4 m<sup>2</sup>（うち栽培エリア 4 4, 6 0 5 m<sup>2</sup>）
- 栽培品目： レタス類
- 生産能力： 1 日当たり約 4 万株～5 万株
- 竣工日： 2 0 2 1 年 8 月 1 0 日



<「美里グリーンベース」現在状況>

## 【本件に関するお問い合わせ】

株式会社舞台ファーム：未来戦略部 西古

TEL: 022-289-6768